



新小岩ゼロメートル市街地における 大規模水害対策への取組

新小岩北地区連合町会・新小岩北地区ゼロメートル市街地協議会

東京都葛飾区新小岩北地区は東京都東部に位置し、荒川放水路等の1級河川に面する地域であり、昭和22年カスリーン台風襲来時には利根川決壊による広域大規模水害が苦い記憶として住民の間で語り継がれています。

また、地盤沈下による「広域ゼロメートル市街地」にも位置し、大規模水害が発生した場合甚大な被害が生じることが予想されていることから、平成18年より当連合町会が主体となってNPO法人、専門家等と連携し、大規模水害のリスクに備えるため様々な取組を行ってきました。

これらの取組は、先進的な取組として徐々に知られるようになった結果、平成21年度の「東京都地域の底力再生事業」に採択されました。また、平成23年には東京都において「新しい公共の場づくりのためのモデル事業」として採択されています。そして、平成26年には地域における防災への取組が、特に優れていると認められ、第18回防災まちづくり大賞総務大臣賞を受賞しました。

《主な取組内容》

1. 平成18年12月から平成21年5月まで当連合町会が中心となり、段階的にテーマを決めて7回にわたり、関係機関に呼びかけ合同勉強会を開催し、具体的な大規模水害への対策について議論・検討を行い、地域住民に対し問題提起と意識づけを図りました。

平成23年にはこれら勉強会のメンバーにより「葛飾区新小岩北地区ゼロメートル市街地協議会」を立ち上げました。

2. 平成20年4月、シンポジウム「大規模災害に地域で備える～広域ゼロメートル市街地における地域住民の取組」を開催、「新小岩宣言」を制定し、地区内の防災意識の高揚を図りました。



災害時要援護者用資器材訓練



市民消防隊の長時間放水訓練



災害時要援護者用車椅子訓練



各町会保有のボート組立て訓練



放水訓練とボート操船訓練

さらに平成22年6月、「水害に備える安全・快適まちづくりシンポジウム」を開催し、長期的な対策について新たな行動計画を策定したのに続き、平成24年3月には「街を暮らしをみんなでどう守るか～大規模水害に備えて」を開催し、ゼロメートル市街地の安心・安全な暮らしの実現に向けたまちづくり宣言を採択し、地域住民はもとより全国に向けて自らの取組を広く発信してきました。

3. 地域住民の防災意識の高揚を図ることを目的に、当連合町会を中心とした葛飾区新小岩北地区ゼロメートル市街地協議会が東京大学等に働きかけ、GPSと連動した水害時の水位や地震時の危険度等の防災情報が簡単にわかるスマートフォン向け防災学習アプリの葛飾区版「天サイ！まなぶくん」を開発し、これを活用したまちづくりイベントも開催し

ました。

4. 当連合町会内の各町会では、平成21年11月に水害ハザードマップに基づいた避難訓練、防災炊き出し、平成24年3月から毎年連続して大規模水害を想定した訓練を実施しております。

この訓練においては、東京消防庁本田消防署、本田消防団及び葛飾区役所と連携し、区内各町会が保有するゴムボートの活用・操縦訓練を実施するなど、段階的に地域住民へ危機意識の浸透を図りながら防災行動力のさらなる向上に努めています。

また、この訓練には、過去の水害被害記憶の伝承を図るため、将来の地域防災の担い手である区内の中学校の生徒を多数参加させ、世代を超えて住民が一体となった地域防災行動力の向上にも努めています。



スタンドパイプ取扱訓練



初期消火訓練